

「核の歴史に関するサマーキャンプ in ひろしま 2025」公開シンポジウム 世界は核抑止への依存をどのように低減できるか

広島県／へいわ創造機構ひろしま(HOPE)では、核兵器廃絶に貢献できる若者の人材育成を図るため、世界13カ国から核分野の若手研究者を広島へ招いて、ローマ・トレ大学と連携して集中合宿を実施しています。その一環として、合宿に参加する、世界の第一線で活躍する講師陣や学生が、「世界は核抑止への依存をどのように低減できるか」について、意見交換する公開シンポジウムを開催します。

【日 時】令和7年9月13日(土) 13:30~16:30

参加無料

【会 場】広島大学東千田キャンパス 未来創生センター (広島市中区東千田町1-1-89)

【主 催】広島県／へいわ創造機構ひろしま(HOPE)、広島大学、ローマ・トレ大学

【開催方法】オンラインとのハイブリッドで同時開催 ※日英同時通訳あり

【次 第】

<セッション1> (13:45-15:15)

参加登録はこちらから



【モデレーター】岩間陽子(政策研究大学院大学教授)

■パネル 歴史の教訓(13:45-14:30)

【パネリスト】

- ・マシュー・ジョーンズ(ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス(LSE)教授)
- ・デビッド・ホロウェイ(スタンフォード大学名誉教授)
- ・マリアナ・ブジェリン(マサチューセッツ工科大学(MIT)核セキュリティ・政策研究所研究員)

■パネル 核兵器の現状と未来、核秩序(14:30-15:15)

【パネリスト】

- ・西田充(長崎大学多文化社会学部教授)
- ・トン・ジャオ(カーネギー国際平和財団(中国)核政策プログラム・シニア・フェロー)
- ・ジョセフ・ピラット(ロスアラモス国立研究所国家安全保障・国際研究センタープログラム・マネージャー)

<セッション2> (15:30-16:25)

セッション1を踏まえた、参加学生による意見交換

【申込締切】令和7年9月11日(木)

【ウェブサイト】<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/peace80/action-summer-camp.html>



ジョセフ・ピラット
ロスアラモス国立研究所
国家安全保障・国際研究センター
プログラム・マネージャー



デビッド・ホロウェイ
スタンフォード
大学名誉教授



マリアナ・ブジェリン
マサチューセッツ工科大学(MIT)
核セキュリティ・政策研究所研究員



マシュー・ジョーンズ
ロンドン・スクール・オブ・
エコノミクス(LSE)
教授



トン・ジャオ
カーネギー国際平和財団
(中国)核政策プログラム・
シニア・フェロー



西田 充
長崎大学
多文化社会学部教授



岩間 陽子
政策研究大学院大学教授